

11月20日 町民会議会議録（議会・行政分科会）

分科会議論補助シートに沿って進める。

### 3 行政（町長）の責務や役割で重視したいことは何ですか？

- ・町長は、3万8千人の人口のトップなのだから中長期（3、4年～20年くらい）のグランドデザインを明確に示し、どういう方向性に持っていきたいかを強く出すべき。
- ・出前町長室があるが、日程が合わないと参加できない。職員も住民と行政の接点なのだから職員の出前講座のようなものを行った方がよい。
- ・住民に基本方針をどのように示し、どう意見を聴くのかを基本条例で示すべき。（ルール化）
- ・町長の声が聞こえない。でないと住民も何をしていいのか分からない。もっと出ていくべきで新しい広報の仕方や、コミュニケーションの仕方もあるべき。コミュニティテレビやメールの発信など。
- ・行政（職員）もそれぞれのセクションで町の顔であるのだから、情報発信していくべき。
- ・現代社会において、情報発信しなければ住民自治はついてこないのではないかと。
- ・住民も市法（条例等）を読んでいない。（長野県栄村では住民の方の市法をよく読んでいる。）
- ・志木市では、市民委員会を作るなどいろいろな実験を行っている。そういった市民が参加できるような機会がないと条例を作っても絵に描いた餅だ。
- ・住民自治という観点から、政府にある民間議員が町レベルであってもいいのではないかと。
- ・ライン、フェイスブックなどにより目につく、耳につく情報を発信すべき。町制に興味がない人への広報のしかけの工夫が必要。
- ・30代、40代の人たちが魅力を感じるような情報を発信した方がよい。
- ・失敗してもいいから（お金がかからなければ）、いろいろな方法を試していくべき。
- ・住民の自治意識が低い。自分たちの町を自分たちでつくるんだというのがない。意識が高揚するようないしがけが大事。
- ・協働のまちづくり条例について、条例で5つのグループを定めているが、効果があったかどうかの報告をさせていない。
- ・行政政策を住民ができることが明確に出れば張り合いも出る。
- ・協働のまちづくりは若い人がいない。また、条例は方法論しか書いていない。
- ・町としての考え方、背骨となるものを考えるべきで、町長が替わることによって替わってはいけない。

### 4 議会やの責務や役割で重視したいことは何ですか？

- ・議員は住民の代表であるが、地域の代表でもあるので、区長が意見を上げていくのではなく、議員も地域の問題点を上げていった方がよい。
- ・議員は自分の活動報告はするが、住民の意見を吸い上げるというのはあまりしていない。
- ・三芳町をどう富ますかを考えている人がいない。
- ・対価に見合った活動をすべき。
- ・議会に力はあるのか。議論がなく役所と議員の質疑応答だけで決まってしまう。
- ・議員は、大所高所から幅広い見識を持ち、法律、行政の知識を持ち、常にアンテナを張り、公共の福祉のために仕事をすべき。
- ・語り合おうという人がいない。
- ・チェック機能も必要だが、それだけではない。
- ・法律、行政の手続きに明るい人がどのくらいいるのか。
- ・議会も町長のようにこれをしたいたいというのを出していくべきで、個人がしっかりとした町のビジョンを持ち、町に提言する姿勢を持ってほしい。
- ・議会報告のときにこの質問はどういう目的で質問したのかも説明すべき。
- ・選挙に当選する、しないだけでなく住民自治ということであれば、議員マニフェストを出し、議員も責任を問われるべき。